

二級河川津田川水系及び二級河川番川水系における当面の治水目標及び治水手法について(要約)

○治水目標

河川名	流域面積 (k m ²)	管理延長 (km)	現況河道			50 mm/h 対策後河道				事業効率[効果-費用] (百万円)		当面の 治水目標	留意点
			50 mm/h 程度			65 mm/h 程度		80 mm/h 程度		65 mm/h 対策後	80 mm/h 対策後		
			危険度 I	危険度 II	危険度 III	危険度 II	危険度 III	危険度 II	危険度 III				
つだ 津田川	26.3	10.0	15.25ha 1,258 人 1,095 百万円	1.25ha 98 人 293 百万円	-	-	-	3.25ha 198 人 1,088 百万円	-	0	251-4,571= -4,320	65mm/h 程度	地震・津波対策対象河川
ばん 番川	8.95	3.0	1.25ha 4 人 8 百万円	0.25ha 2 人 18 百万円	-	0.25ha 0 人 0 百万円	-	1.50ha 6 人 74 百万円	-	0	64-58=6	80mm/h 程度	

○治水手法

河川名	当面の治水目標	抽出された治水手法案の概要	概算事業費	事業効率(B/C) (現時点から当面の治水 目標達成まで)	事務局案	備考
つだ 津田川	65mm/h 程度	案① 河道改修: 流下能力が不足する区間の河道拡幅 及び河床掘削によって流下能力を確保 案② 遊水地: 流下能力が不足する区間の上流域に遊水地を 整備し、洪水ピーク流量をカット	案①1.6 億円 案②95.5 億円	案①7.78 案②0.24	案①: 河道改修案 一般的な手法であ り、実現性が高い	
ばん 番川	80mm/h 程度	【区間 A】 案①耐水型整備(例: 宅地嵩上げ): 流下能力の不足により 浸水家屋の宅地嵩上げを実施 案②河道改修: 流下能力が不足する区間の河道拡幅 及び河床掘削によって流下能力を確保 【区間 B】 案①耐水型整備(例: 宅地嵩上げ): 流下能力の不足により 浸水事業所の嵩上げを実施 案②河道改修: 流下能力が不足する区間の河床掘削によっ て流下能力を確保 【区間 C】 案①耐水型整備(例: 宅地嵩上げ): 流下能力の不足により 浸水家屋・事業所の嵩上げを実施 案②河道改修: 流下能力が不足する区間の河道拡幅によっ て流下能力を確保	【区間 A】 案①: 0.60 億円 案②: 0.64 億円 【区間 B】 案①: 0.30 億円 案②: 0.13 億円 【区間 C】 案①: 0.45 億円 案②: 0.18 億円	【区間 A】 案①: 1.20 案②: 1.09 【区間 B】 案①: 1.43 案②: 3.03 【区間 C】 案①: 1.05 案②: 2.35	【区間 A】 案①: 耐水型整備 事業費が安価であ り、効率的である 【区間 B】 案②: 河道改修案 一般的な手法であ り、実現性が高い 【区間 C】 案②: 河道改修案 一般的な手法であ り、実現性が高い	